

令和元年（平成31年）度学校関係者評価結果の公表

学校として、今回の学校関係者評価結果を真摯に受け止め、来年度の教育活動に活かすと共に、保護者・地域に信頼される学校づくりに努めてまいります。今後とも本校の学校運営に対しまして、保護者・地域の皆様のより一層のご理解、ご協力をいただきますよう、お願いいたします。

なお、以下に2月20日（木）に開催しました学校関係者評価委員会に提示した資料及び学校関係者評価委員の皆様の評価の結果を掲載します。

- 1 学校関係者評価委員会の評価結果
- 2 学校関係者評価委員会提示資料
 - A 令和元年（平成31年）度学校経営方針
 - B 令和元年（平成31年）度学校評価計画
 - C 年間の主な教育活動のまとめ
 - D 研修・委託事業等のまとめ
 - E 生徒の活躍状況
 - F 学力・体力の状況
 - G 学校評価アンケート集約結果及び分析
 - H 学校所見

1 学校関係者評価委員会の評価結果

○ 令和元年（平成31年）度槻田中学校関係者評価委員

校区町内会役員 印藤 政子 様（16年）

主任児童委員 北野 秀美 様（6年）

前父母教師会会長 岩切 雄太 様（1年）

祝町市民センター館長 平田 和美 様（1年）

高槻市民センター館長 岩下 弘志 様（2年）

槻田市民センター館長 仰木 富美子様（2年）

※令和2年2月20日（木）18時30分～20時30分に学校関係者評価委員会を開催しました。以下、学校関係者評価委員様からのご意見を順不同で記載します。

① 令和元年（平成31年）度の学校運営状況について

○適切に運営されていると思いました。

○「基調方針」に基づいて、指導が細かく計画されていると感じました。現実には中々思うようにはいかない事が多々あるかと思いますが、学校側の取組を教師だけでなく、保護者の側の理解があれば、もっと良くなると感じました。

○中学校でも、生徒一人ひとりに対する指導が少しずつ定着しつつあると感じます。

○困難な状況の中、良くこなされていると思います。ここ数年、前向きで確実な前進をしていると感じられます。校長先生のもと、教職員のまとまりも感じます。

○先生方の働きを目の当たりにしてきた前 PTA 会長としては、先生方の長時間勤務が気になります。このことは、槻田中学校だけの課題ではありませんが、生徒にとって、心と体の元気な先生の姿は、何よりも大切なことだと思います。

○校長先生のリーダーシップのもと、目標達成に向けて、細かな教育指導がなされています。生徒のみならず、教職員の方々ご自身の課題解決に向けて努力されており、結果的に生徒へ良い影響を与えていると強く感じました。

② 学校の自己評価（評価規準・教職員自己評価・保護者アンケート・生徒アンケート）結果について

○学校評価アンケートの分析はよくされていると思います。学校所見にありますように、次の課題に向けて、更なる努力をお願いいたします。

○アンケートは、実に細かい動きをうまく理解しているのだと感心致しました。3者の評価書の違いは当然ながら、特に保護者側が家庭でしなければいけない事まで、学校側に押し付けているような気がしてなりません。

○学校の立場から見ると、保護者があまりにも期待しすぎているように思います。しかし、仕方がないことかなと思います。一方、先生方自身は一生懸命にやっているという自負が感じられますが、保護者や生徒に十分伝わっていないようです。この隔たりをどのように受け止め、改善していくかが課題かと思えます。

○アンケートを分析・把握し、課題の強化部分としていることに学校の「やる気スイッチを感じます。

○「あいさつ」について、きっと先生方もされていることと思います。しかし、生徒たちの元気なあいさつに負けているのではないのでしょうか。

○保護者アンケートについて、家庭で行われるべき指導の責任転嫁では？いつもの事ですが、学校からの家庭への情報発信等、投げかけも必要だと思います。

○学校の先生方の自己評価が前年度を上回っているのは、大変良いことだと思います。きっとそんな先生方の姿を見て、生徒の皆さんは自己評価し、自己肯定感が高くなっていくことと思います。

○アンケートの内容には全国的な基準があるのでしょうか。生徒の心理的な部分や SNS などの影響での課題をもう少しアンケートに組み込まれてみてはいかがかと感じました。例えば、悩みごとや不安に思うことを相談する相手はいるかなど、苦手な科目や好きな科目についてのアンケートなども率直に聞いてみるなど。

③ その他

○校長先生のご献身を傍らで拝見し、中学校教育の大変さを感じました。

○保護者は家庭で何ができるのかを考えてほしいです。

○学校評価委員会に出席させていただきありがとうございました。大変有意義な時間をいただきました。役柄、実情の把握に戸惑いながら、校長先生のお話、アンケート結果はとても参考になりました。これからも地域の目で見守りをしていきます。学校側からも遠慮なく私どもに投げかけてください。

○先生方の働きに敬意を表すると共に、心から感謝申し上げます。余談ですが、私の息子（現高校1年）は、槻田中学校を卒業して1年たった今も中学校の教師になることを目標にしています。これは、彼が槻田中学校で学び過ごせたからです。

○親と子どものコミュニケーションが不足していたり、そのような時間がとりづらい余裕のない家庭も多くなってきていると思われます。親の気持ち、生徒の気持ち、また、学校とのコンタクトをバランスよくとってくださるようなスクールカウンセラーの役割は大きいと考えます。子どもを通して、親業のあり方も何かの方法で発信していく事も、これからは必要性も大となりますね。センター側も発信してまいります。

④ 検証の結果

○令和2年2月20日（木）18時30分～20時30分まで委員会を開催し、学校関係者評価委員様6名より回答を受けました。

○検証の視点

1 学校運営が適切に進められたか

A適切である Bほぼ適切である Cやや適切でない D適切でない

→ 委員様6名の評価

A・・・6名 B・・・0名 C・・・0名 D・・・0名

2 学校の自己評価が適切に行われたか

A適切である Bほぼ適切である Cやや適切でない D適切でない

→ 委員様6名の評価

A・・・6名 B・・・0名 C・・・0名 D・・・0名

**評価委員6名より、「適切である」の評価を頂きましたので
報告いたします。**

☆以下、学校関係者評価委員会に提示した資料を掲載

2 令和元年度北九州市立槻田中学校評価資料

- A 令和元年度学校経営方針
- B 令和元年年度学校評価計画
- C 年間の主な教育活動のまとめ
- D 研修・委託事業等のまとめ
- E 生徒の活躍状況
- F 学力・体力の状況
- G 学校評価アンケート集約結果及び分析
- H 学校所見

A 令和元年（平成31年）度 北九州市立槻田中学校 学校経営方針

【本市教育の目標】

思いやりの心をもつ、自立した心をはぐくむ

《学校教育目標》

＜校訓＞「自律の心」「尊敬の情」「知能の力」

- 常に自分の考え、自分の意志と責任で行動できる、自律と自立の精神をあわせ持った心を育てる。
- 自分を大切にし、他者やすべての生命を尊重するとともに自然との豊かな関わりの創造に努める情を育む。
- 健やかな心と身体を持ち、真理や正義に基づいて、困難に耐え、未来を拓く知力や能力を身に付ける。

〈目指す学校像〉

- 教師と生徒、生徒相互が信頼関係で結ばれ、自己存在感や達成感を実感できる学校
- 明るく活気に溢れ、すべての生徒が生き生きと安心して生活できる学校
- 清潔で美しく、落ち着いた環境で学習や活動に集中できる学校
- 保護者・地域と連携しながら開かれた学校づくりを推進し、郷土に愛され信頼される学校

〈目指す生徒像〉

- 自ら考え、正しく判断し、責任をもって行動できる生徒
- 互助の精神をもって、社会・公共のために、広い視野で行動できる生徒
- 自他を敬愛し、心の交流のできる生徒
- 明るく挨拶をし、向上心溢れる生徒
- 学校（学級）を大切にし、美しい環境（生活環境、学習環境）づくりのできる生徒
- 自他の生命を大切にし、相手を思いやり、人の心の痛みや優しさを素直に感じ取れる生徒

〈目指す教師像〉

- 教育公務員としての使命を自覚し、自己研鑽に努める教職員
- 教育的な温かさと厳しさに溢れ、責任ある態度と教育実践で保護者、地域から信頼される教職員
- すべての教職員が一丸となり、常に行動連携をとる姿勢を見せることで生徒を魅せる教職員集団

※本年度の重点課題：「心の育ち」を考えた教育活動の充実、学力・体力向上事業推進校の取組

■令和元年（平成31年）度 学校経営「基調方針」

〈中間層が正義派生徒となる指導の実現〉

全ての教育活動、学年・学級活動で、特に、中間層（2・6・2）への以下の指導を意識する。

- ①部活動生徒を中間層の核となる生徒として位置づけ、基調方針に基づいて指導する。
- ②生徒会活動及び班長会等の学級活動による自治活動に力を注ぎ、中間層生徒が常にステップアップを目指すようにするとともに、荒れにつながる言動に対しては生徒の自浄能力がはたらくよう、基調方針に基づいて指導する。
- ③年間指導計画に生徒の「心の育ち」に繋がる原体験となるよう、豊かな体験活動を仕組む。

☆ 目標達成のためのキーワード「基礎・基本」と「感動」

→当たり前前の事が当たり前前に出来る生徒の育成を目指す。

B 令和元年度学校評価計画

- 1 学校運営説明会の実施（P T A総会時）
- 2 第1回学校関係者評価委員会（5月中旬）
- 3 学校自己評価の実施（12月下旬）
- 4 第2回学校関係者評価委員会（2月下旬）
- 5 学校運営報告会（3月上旬）
- 6 学校関係者評価結果の公表（3月中旬）

C 年間の主な教育活動のまとめ

- | | | |
|----|---|-------------|
| 4月 | ○ 5日 着任式・始業式 | |
| | ○ 9日 第73回入学式 | |
| | ○ 10日 対面式 | |
| | ○ 18日 3年全国学力学習状況調査 | |
| | ○ 19日 部活動発足式 | |
| | ○ 20日 授業参観・ふれあい合宿説明会・学級懇談会・PTA総会・部活動保護者会の実施 | |
| | ○ 23日 家庭訪問（5日間） | |
| | ○ 26日 子ども読書の日の取組 | |
| 5月 | ○ 1日 天疫神社大祭（吹奏楽部出演） | <地域貢献> |
| | ○ 15日 3年修学旅行説明会 | |
| | ○ 16日 PTA委員総会 | |
| | ○ 17日 第一回学校関係者評価委員会 | |
| | ○ 22日 1年ふれあい合宿（かぐめよし少年自然の家・2泊3日） | <感動体験> |
| | ○ 27日 朝読書活動（5日間） | <読書習慣化> |
| | ○ 29日 小学校との授業交流 | <小中連携> |
| 6月 | ○ 2日 吹奏楽祭 | |
| | ○ 3日 ノーチャイム週間 | <基本的生活習慣> |
| | ○ 5日 3年修学旅行（2泊3日関西方面） | <感動体験> |
| | ○ 11日 中学校区授業交流会 | <小中連携> |
| | ○ 12日 教育相談週間（5日間） | <相談活動> |
| | ○ 19日 1学期末考査（3日間） | |
| | ○ 21日 避難訓練（火災） | <防災教育> |
| | ○ 24日 朝読書週間 | <読書習慣化> |
| | ○ 26日 熱中症対策講習会（市立八幡病院伊藤院長） | <健康教育> |
| | ○ 26日 生徒会朝のあいさつ運動 | <生徒会活動> |
| | ○ 28日 部活動激励会 | <校風の醸成> |
| 7月 | ○ 2日 1年性教育（東区助産師） | <性教育> |
| | ○ 3日 2年美術鑑賞教室 | <豊かな心の育成> |
| | ○ 4日 生徒総会 | <生徒会活動> |
| | ○ 5日 平和に関する指導 | <平和教育> |
| | ○ 10日 出前授業（東筑紫学園・演劇w s） | <心の教育・進路指導> |
| | ○ 12日 2年スクール救命救急講習 | <防災教育> |
| | ○ 12日 生徒会朝のあいさつ運動 | <生徒会活動> |
| | ○ 16日 保護者懇談会（3日間） | |
| | ○ 19日 終業式 | |
| | ○ 23日 3年ひまわり学習塾開始<毎週2日> | <学習習慣> |
| | ○ 28日 吹奏楽コンクール | |
| 8月 | ○ 7日 職員研修 | <綱紀粛正> |
| | ○ 13日 <u>学校閉庁日（15日まで）</u> | |
| | ○ 20日 中文連全国プレ大会 | |
| | ○ 26日 第2学期始業式・シェイクアウト訓練 | <防災教育> |
| | ○ 26日 いじめ撲滅取組週間（30日まで） | <人権教育> |
| | ○ 26日 校区えがおミーティング | <小中連携> |
| | ○ 27日 夏の課題テスト | |
| | ○ 28～29日 大雨による臨時休校 | |

9月	○ 9日	生徒会朝のあいさつ運動	<生徒会活動>
	○ 15日	第73回体育大会	<感動体験>
	○ 19日	校内モデル授業公開研修会(山本)	<教師力向上>
	○ 21日	PTA4校親善スポーツ大会	
	○ 24日	暴力排除教室	<規範教育>
	○ 24日	朝読書週間及びいじめ教育相談(30日まで)	<読書習慣化・教育相談>
	○ 25日	東筑紫学園演劇ワークショップ	<コミュニケーション能力の育成>
	○ 31日	生徒会改選立会演説会	<生徒会活動>
10月	○ 3日	中間考査(2日間)	
	○ 4日	2年農泊説明会・英語検定	
	○ 7日	3年学力定着度テスト	<学力向上>
	○ 8日	2年性教育	<性教育>
		3年英語検定IBA	
	○ 10日	スクールコンサート(富永裕輔氏)	<豊かな心の育成>
	○ 10日	小中合同あいさつ運動	<小中連携>
	○ 11日	2年芸術鑑賞教室	<豊かな心の育成>
		3年私立高校説明会	
	○ 15日	1年ダンス教室(講師招聘)	<感動体験>
	○ 15日	校内授業公開研修週間(17日まで)	
	○ 18日	3年性教育	<性教育>
	○ 18日	校区人権教育研修会	
	○ 19日	祝町市民センター祭吹奏楽部出演	<地域貢献>
	○ 21日	生徒会執行部交代式	<生徒会活動>
	○ 22日	即位礼正殿の儀	
	○ 26日	八幡なでしこ吹奏楽部慰問訪問	<地域貢献>
	○ 28日	朝読書週間	<読書習慣>
	○ 28日	学校開放週間(11月3日まで)	
11月	○ 2日	文化発表会	<感動体験>
	○ 6日	2年農泊体験学習(大分県玖珠町他8日まで)	<感動体験>
	○ 6日	3年公立高校説明会	
	○ 7日	3年学習定着度検査	<学力向上>
	○ 8日	1年芸術体験教室(響ホール所属演奏者)	<豊かな心の育成>
	○ 9日	槻田市民センター祭(吹奏楽部出演)	<地域貢献>
	○ 10日	高槻市民センター祭(吹奏楽部出演)	<地域貢献>
	○ 11日	1・3年地域清掃活動	<地域貢献>
	○ 12日	吹奏楽部連合音楽祭出演(響ホール)	<感動体験>
	○ 13日	教育相談(19日まで)	
	○ 18日	職員研修	<教師力向上>
	○ 20日	2学期末考査(3日間)	
	○ 21日	標準服説明会	<小中連携>
	○ 22日	避難訓練(不審者)	<防犯教育>
	○ 26日	校内道徳授業研修会・協議会	<教師力向上>
	○ 29日	親子で学ぶ規範意識講演会(NPO法人講師)	<規範教育>
12月	○ 1日	祝町もちつき大会(バレー・サッカー・野球部参加)	<地域貢献>
	○ 2日	人権週間の取組(5日間、明日への伝言板活用)	<人権教育>
	○ 5日	3年クラスマッチ	<感動体験>
	○ 11日	3年オリ・パラ教育講演会(車いす二條選手)	<豊かな心の育成・福祉>
	○ 11日	1・2年北九州市学力状況調査	

- | | | | |
|----|------|-------------------------|-------------|
| | ○12日 | 1・2年オリ・パラ教育講演会（車いす二條選手） | <福祉・国際理解教育> |
| | ○13日 | 3年進路講演会（敬愛龍先生） | <進路学習> |
| | ○15日 | 吹奏楽部市クリスマスコンサート出演 | |
| | ○16日 | 保護者懇談会（3年のみ） | |
| | ○16日 | 朝読書週間（20日まで） | <読書習慣> |
| | ○17日 | 保護者懇談会（19日まで） | |
| | ○23日 | 終業式 | |
| 1月 | ○8日 | 始業式、調査書作成委員会 | |
| | ○9日 | 3年学力定着診断テスト | <学力向上> |
| | ○24日 | 2年書初め大会 | <伝統文化> |
| | ○15日 | モデル授業公開（数学・山本先生） | <教師力向上> |
| | ○17日 | 2年自殺予防授業（TT カウンセラー山根） | <心の教育> |
| | ○21日 | 私立高校・専修推薦入試 | |
| | ○24日 | 英語検定試験 | |
| | ○27日 | 公立推薦入試調査書作成委員会 | |
| | ○28日 | 私立高校一般入試（3日間） | |
| | | 2年百人一首大会 | <伝統文化> |
| | ○29日 | 1年百人一首大会 | <伝統文化> |
| | ○30日 | 1・2年学力定着診断テスト | <学力向上> |
| 2月 | ○5日 | 3年生を送る会リーダー研修会 | <生徒会活動> |
| | ○5日 | 3年保護者会（2日間） | |
| | ○6日 | 公立高校推薦入試（2日間・内定発表13日） | |
| | ○7日 | 新入生への入学説明会 | <小中連携> |
| | ○7日 | 3年保護者懇談会（2日間） | |
| | ○14日 | 公立高校調査書作成委員会 | |
| | ○18日 | 定期監査 | |
| | ○19日 | 学年末考査（3日間） | |
| | ○20日 | 第2回学校関係者評価委員会 | |

※今後の予定

- | | | | |
|----|------|-----------------------------------|---------|
| | ○29日 | 土曜授業（1・2年のみ、もちつき）中止 | <伝統文化> |
| 3月 | ○3日 | 3年生を送る会 中止 | <生徒会活動> |
| | ○6日 | 校外活動（1年いのちの旅博物館等、2年福岡市班別研修）中止 | <社会見学> |
| | ○8日 | 新入生物品購入 | |
| | ○10日 | 公立高校入試（2日間） | |
| | ○11日 | 3年同窓会入会式 中止 | |
| | ○12日 | 第71回卒業証書授与式（3クラス男子40名、女子52名 計92名） | |
| | ○18日 | 公立高校合格発表 | |
| | ○19日 | 内示予定 | |
| | ○23日 | 小中連絡会 | |
| | ○24日 | 令和元年度修了式・離任式 | |

☆3月2日～24日、新型コロナウイルス蔓延に伴い、市内小・中・特別支援学校が臨時休校になったため、2月29日もちつき以降の活動が中止になった。

D 令和元年度研修・委託事業等のまとめ

○北九州市教育委員会「学力・体力向上推進事業」指定校

○北九州市教育委員会「ひまわり学習塾」実施校

○校内教科等研修記録

年間	教科別研修会（全員）
4月16日	学力・体力向上4部会議
4月22日	学力・体力向上委員会
5月 8日	学力・体力向上委員会
5月16日	授業力向上提案授業公開（青柳）及び協議会
5月29日	小中授業交流
6月11日	中学校校区授業交流会
6月19日	学力・体力向上4部会議
7月 9日	学力・体力向上4部会議
7月11日	学力・体力向上委員会
8月 7日	学力・体力向上4部会議・校内研修会
8月28日	学力・体力向上4部会議
9月 4日	学力・体力向上4部会議
9月19日	授業力向上モデル授業公開（推進員）・校内研修会
9月25日	学力・体力向上委員会
10月15～17日	校内全員授業公開期間
11月12日	授業力向上提案授業公開（村上）及び協議会
11月26日	校内道徳授業公開（青柳）・研修会
12月11日～	北九州学調分析
1月16日	授業力向上モデル授業公開（数学・山本）協議会

○学力向上推進教員来校日 毎週1日（山本登先生）

○学力向上先進校県外視察 教頭（岡山）・村上（東京）

○小中連携

8月26日	槻田中学校校区4校合同えがおミーティング
10月18日	中学校校区人権教育研修会（槻田小）
6月11日	中学校校区授業研修会（槻田中）
3月20日	小中連絡会

F 学力・体力の状況(全国学習状況調査結果)

1 本年度の3年生の全国学習状況調査の結果は、

- ① **国語**は、全国平均を上回っており、無回答も少なかった。
- ② **数学**は、全国平均を下回っている。関数、資料の活用に関して、正答率が低い。図形についても、県平均を上回っているが、全国平均よりも下回っている。
- ③ **英語**は、全国平均と同程度である。聞く問題や読む問題に関しては、県・全国平均正答率を上回っているものが多い。書く問題に関しては、平均正答率を下回っており、日ごろの授業内での取り組み方を改善する必要がある。

2 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査の結果は、

- ① 自己肯定感が低く、自分に自信がない生徒が多い。
- ② 読書が好きな生徒の割合が全国に比べてかなり高い。学校における読書の取組が実を結んできている。
- ③ 地域の行事に積極的に参加している様子から、郷土愛が高いと思われる。

3 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

- ・授業では、より話し合いによる深い学びをより充実させていく。
- ・低位層の生徒に対して、放課後教室や質問教室など、何らかの手段を講じる必要がある。

② 家庭学習習慣等に関する取組

- ・家庭学習への具体的なアプローチをする必要がある。
- ・全国学調や北九州学調の結果公表を通じて、家庭生活のアナウンスをしていく。

4 本年度の体力調査の結果は、

本年度の体力調査の結果、2年男女ともに全国平均を上回っていた。地道に継続してきた体育科の取組が功を奏した結果である。今後も引き続き、取り組んでいきたい。

G 令和元年度学校評価アンケート集計結果及び分析

1 自己評価について

自己評価資料とするため、7月と12月に生徒・保護者・教師に相互関係にある同項目についてアンケート調査を実施した。3者◎、生徒と教師○、生徒と保護者△

アンケート内容

1 (1)	自分から積極的にあいさつをしている。	◎
1 (2)	先生たちは積極的にあいさつをしている。	◎
2	楽しく学校生活を送れている。	◎
3	先生から、学習の評価方法について、詳しく説明もらっている。	◎
4	学校は、生徒の家庭学習をサポートしている。	◎
5	学校(学年)行事に積極的に参加している。	○
6	学校便りや学級通信その他のプリントで、学校の様子がよくわかる。	◎
7	学校は清掃が行き届いている。また掲示物も工夫されている。	◎
8	学校は、いじめのない学校づくりのために努力している。	○
9	学校は、保護者・地域と協力して、教育活動に取り組んでいる。	◎
10	家庭では、運動やスポーツを積極的に行うことを勧められている。	△
11	家庭学習に自主的・計画的に取り組んでいる。(1日、1時間以上)	△
12	睡眠時間を十分に取っている。	△
13	毎日朝食を食べている。	△
14	授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自ら取り組んでいる。	○
15	授業では、生徒間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。	○
16	授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されている。	○
17	授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っている。	○
18	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる。	○
19	自分に良いところがあると思う。	○
20	将来の夢や目標を持っている。	○
21	人の役に立つ人間になりたいと思っている。	○

2 アンケート結果

学校評価を実施するため、21項目について生徒・保護者・教師にそれぞれの視点から、前期7月・後期12月にアンケート調査を行いました。今回、経年比較を行うため、平成30年12月と令和元年12月のデータを比較します。

◎ 評価の規準

とてもあてはまる・・・A だいたいあてはまる・・・B
あまりあてはまらない・・・C まったくあてはまらない・・・D

◎ 調査の対象

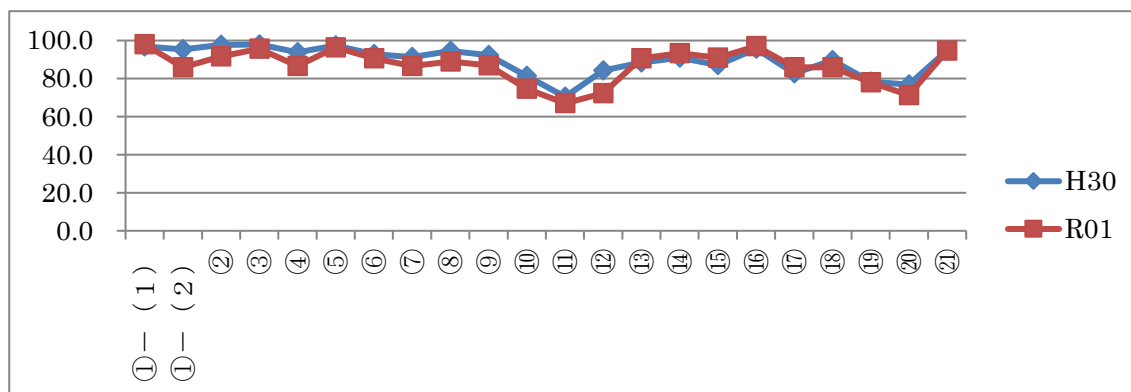
保護者273名／290名、生徒288名／308名、教師20名／20名

◎ 結果 単位は% A及びBと回答した合計を当てはまるとして、その数字を百分率で表示している。

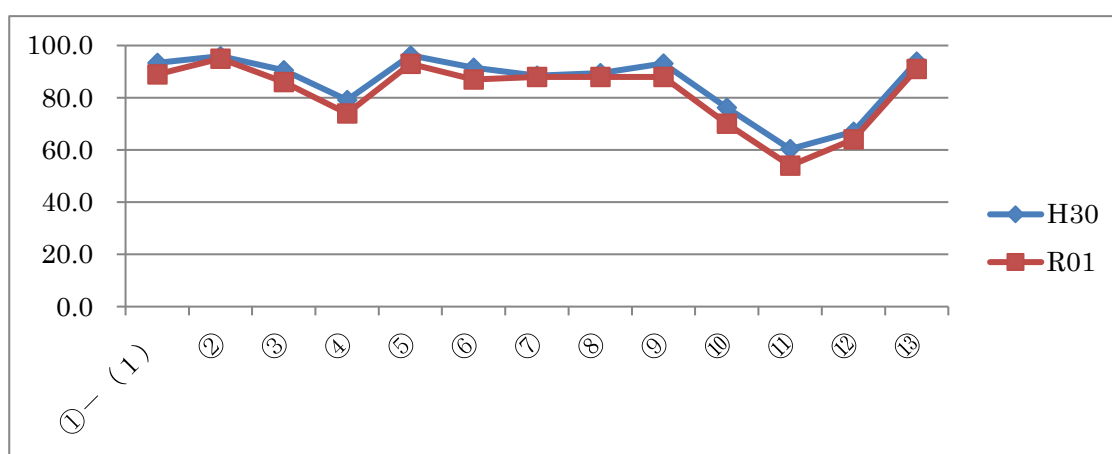
評価項目	生徒		教師		保護者	
	H30	R元年	H30	R元年	H30	R元年
①- (1) 自分からあいさつをしている	96.9	98.0	94.4	85.0	93.3	89.0
①- (2) 先生たちは積極的にあいさつをしている	95.4	86.0	100	100		
②楽しく学校生活を送れている	97.7	91.7	100	100	95.9	95.0
③先生から、学習の評価方法について説明を受けている	97.9	95.7	87.5	100	90.5	86.0
④学校は生徒の家庭学習をサポートしている	93.8	86.7	50.0	75.0	79.1	74.0
⑤学校(学年)行事に積極的に参加している	97.4	96.3	88.2	100	96.2	93.0
⑥学校(学級)たより等で、学校の様子がよくわかる	92.8	90.7	43.8	70.0	88.4	87.0
⑦学校は清掃が行き届いている。また掲示物も工夫されている	91.4	86.7	66.7	80.0	89.5	88.0
⑧学校は、いじめのない学校づくりのために努力している	94.5	89.0	100	100	89.5	88.0
⑨学校は、保護者・地域と協力して教育活動に取り組んでいる	92.4	87.0	88.9	90.0	93.1	88.0
⑩家庭では、運動等を積極的に行なうことを勧められている	81.4	74.7			76.2	70.0
⑪家庭学習に自主的に計画的に取り組んでいる	70.4	67.0			60.3	54.0
⑫睡眠時間を十分にとっている	84.3	72.3			67.0	64.0
⑬毎日朝食をとっている	88.4	90.7			93.9	91.0
⑭授業では課題に対し、自ら考え自ら取り組んでいる	91.0	93.3	68.8	85.0		
⑮授業では、話し合い活動を通じ、自分の考えを深めたりしている	87.1	91.0	56.3	70.0		
⑯授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されている	95.8	97.0	81.3	95.0		
⑰授業の最後に振り返り活動を行っている	82.7	86.0	81.3	95.0		
⑱先生は理解していない所について、わかるまで教えてくれる	89.7	86.0	87.5	85.0		
⑲自分に良い所があると思う	78.4	78.0	88.2	95.0		
⑳将来の夢や目標を持っている	76.8	71.3	82.4	100		
㉑人の役に立つ人間になりたいと思っている	94.9	94.7	88.2	90.0		

3 経年比較グラフ

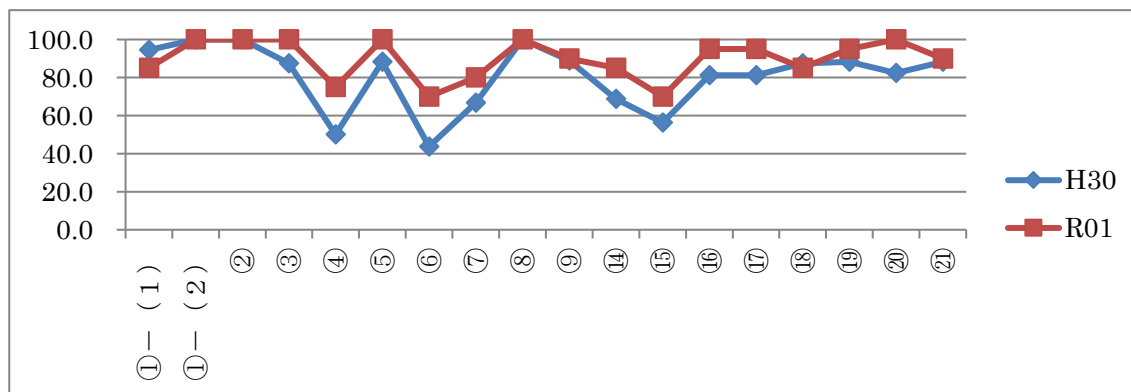
① 生徒の経年比較



② 保護者の経年比較



③ 教師の経年比較



4 学校評価アンケート（12月分）集約結果と分析

① 生徒のアンケート結果から

- ・⑩、⑪、⑫、⑳の項目が、全体の中でも昨年同様に低位の状況にある。

項目⑩ 家庭では、運動やスポーツを積極的に行う事を進められている

項目⑪ 家庭学習に自主的・計画的に取り組んでいる

項目⑫ 睡眠時間を十分にとっている

項目⑳ 将来に夢や目標を持っている

② 保護者のアンケート結果より

- ・⑩、⑪、⑫の項目が全体の中でも昨年同様に低位の状況にある。

項目⑩ 家庭では、運動やスポーツを積極的に行う事を進められている

項目⑪ 家庭学習に自主的・計画的に取り組んでいる

項目⑫ 睡眠時間を十分にとっている

③ 教師のアンケート結果より

- ・④、⑥、⑮の項目が全体の中でも昨年同様に低位の状況にある。

項目④ 学校は家庭学習のサポートをしている

項目⑥ 学校だよりや学級通信などで学校の様子がわかる

項目⑮ 授業では、生徒間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。

※ アンケート結果の分析

・項目④は、昨年度よりかなり改善できたと考える。教師のアンケート結果は上昇している。本年度、学校は昨年度の状況を打破するために組織を改編し、学力向上部会を4部会に再編家庭学習サポート部会を立ち上げ改善を期した。結果、生徒・保護者の結果、改善にむすびついていないが、様々なサポートをするため、環境整備や家庭学習ノートの取組等、手立てをとることはできた。今後も、生徒の意識向上と保護者の協力に取り組んでいく。

・項目⑥は、昨年度よりかなり改善できたと考えている。教師のアンケート結果は上昇している。現在、学校は業務改善、教師のワークライフバランスの向上に努めているが、その一方で、授業改善等の取組も同時に行っており、十分時間が確保されているとはいいがたい。しかし、学校の取組や子どもたちの学校生活の状況を家庭に伝えることは大切であり、今後様々な分野から広く保護者に情報提供できるよう、努めていきたい。

・項目⑬は、教師のアンケート結果は上昇している。昨年度来、教育委員会の学力・体力向上推進事業の指定校として、授業研修会や教師全員の授業の見合いによる研修等、学力・体力推進教員のご指導も仰ぎながら進めてきた。特に全教員が、授業中の話し合い活動の場を、一斉授業の中でペア学習や班別学習等の形態等試行錯誤しながら進めている。令和3年度から本格実施される新学習指導要領改訂での目指すものであり、生徒の数値は上位で安定してきており、一定の成果は出てきていると感じる。ただし、すべての1単位時間で取り組むことは学習進度を考えると難しく、今後の課題である。

・項目⑩～⑫については、家庭での生活についての設問であるので一概には言えないが、子どもを育てる10カ条を生徒や保護者の中に、さらに浸透させていきたい。

④ 平成30年度と令和元年度の12月分経年比較グラフからの分析

○生徒の年度比較

2年間を通して、生徒の振り返りは同様の傾向がある。その中で、わずかであるが、全体的に生徒の意識の低下がみられる。特に設問①―(2)、④、⑫については意識の低下が顕著である。

①―(2)の「先生たちは積極的にあいさつをしている」において、教師側の意識は高いが、生徒に十分伝わっていないのは残念である。

④「学校は生徒の家庭学習をサポートしている」に対して、教師側も十分だとは捉えていない。教師集団は、家庭学習の大切さを十分理解し、家庭学習用の課題を与えるなどの支援や生活ノートや学習計画表の点検、また放課後の質問教室の実施などを行っているが、今後は生徒

の意識を向上させることの支援を強化させていく必要がある。

⑫「睡眠時間を十分に取っている」については、保護者の評価も低位にある。例年、3年生は受験もあり、低位ではあるが、1・2年生もやや低位にあることから、今後、早寝の習慣化を保護者・生徒に啓発していく必要がある。

○保護者の年度比較

2年間を通して、保護者の振り返りも昨年度と大きな変化はないが、わずかではあるが、全体的に意識の低下がみられる。

学校として、学校の取組状況や生徒の様子について、より啓発していく工夫が必要であるし、今後、子どもたちの健全なる成長を目指して、より保護者と連携していく努力を学校もしていきたい。

○教師の年度比較

2年間を通して、教師の振り返りは意識の向上がみられる。特に①-①の「生徒は自分から積極的にあいさつをしている」の項目以外は、すべて昨年度を上回った。

①-①については、保護者の意見の中に、生徒のあいさつが昨年より悪くなったとの指摘があった。半面、朝学校周辺を散歩されている地域の方から、「槻田中の生徒はよくあいさつをしてくれますね。」と言われることがたびたびある。

いずれにしても、今後、生徒が学校だけでなく地域の中でも積極的にさわやかなあいさつができるように、様々な機会を捉えて、指導助言していきたいと考えます。

H 学校所見

- ① 本年度、学校教育目標の達成を目指して、全教職員で共通理解を図り、年間計画を立て、「基礎・基本」と「感動」をキーワードにして教育活動を行ってきた。特に令和3年度からの新学習指導要領実施に向けて、スムーズに移行するため、北九州市教育委員会「学力・体力向上推進事業」の指定推進校として、校内組織に学力向上4部会を設立し、年間を通して、全職員で授業改善に取り組んできた。特に環境整備や授業作りの取組など、各教職員が意識して取組ができてきていると評価できる。しかし、タブレットの導入により、教職員で、さらに有効な活用方法等を含めて、研修を深めていかなければならない。来年度、引き続き授業改善に努め、新学習指導要領へのスムーズな移行を果たしたい。また、教育活動については、ほぼ年間計画通り進めることができた。本年度のアンケートの集計結果を見ると、生徒・保護者ともに、学校の教育活動への満足感はますます掴むことができた。また、教職員の自己評価は、大幅に上昇した。しかしながら、特に保護者の数値が全体的に昨年度を下回っている。保護者の理解や啓発をどう進めていくかが今後の課題といえる。
- ② 次に、昨年度より、教師の長時間勤務の解消が課題であり、意識してワークライフバランスをはかるために、業務改善に全職員で努力してきた。特に昨年度、時間外の多かった教職員の校務分掌を他の職員に振り分けるなど業務改善を行った結果、該当教職員の時間外を抑制することができた。また、部活動についても部活動ガイドラインの順守により、平日、土日の練習時間の短縮、休養日の設定により、部活動の適正化に向かうことができた。しかし、労働基準局の言う目安の80時間以上を超えて勤務する教師が月によっては依然存在する。今後も、本校の教育活動が真に生徒の心技体の成長を促すために全力を傾けることに変わりはなく、いずれにしても、職員の健康維持のために、国や市のガイドラインについて保護者の皆様に理解を得、健全な部活運営を含め、さらに長時間勤務の解消に努力していきたい。
- ③ 来年度の課題
- ・業務改善
 - ・部活動の適正運営の継続
 - ・道徳の教科化の実施
 - ・標準服の適正化